

看護職への理解深める

看護の日記念のつどい 松江

島根県看護協会(池田康枝会長)が11日、松江市学園南のくにびきメッセで「看護の日」記念のつどいを開いた。中高生による看護に関する作文の表彰式のほか、現役看護師らが仕事のやりがいを紹介し、看護への理解を深めた。医療関係者や学生など約250人が参加した。



記念式典の後、記念写真に収まる受賞者ら＝11日、松江市学園南のくにびきメッセ

冒頭に、池田会長は「健康状態を問わず幸せに暮らしていくために、看護職は顔の見える手の届く距離でありたい」とあいさつ。

県内の中高生から募集した「こころに残る看護エピソード」作文コンクールで最優秀賞となった県立大田高校の石飛葉月さんは、父親が病気になった時、看護師が「お父さんは絶対大丈夫」と寄り添ってくれたことへの感謝の気持ちと、命が誰かに支えられていることに気づき、看護職を目指しているという作文を読み上げた。

現役看護職のレレートクでは、島大医学部附属病院の助産師・日野彩乃さんが、命の誕生に立ち会える喜び、へその緒を切る瞬間や母子手帳を記録する時の気が引き締まる思いなど、助産師の仕事の魅力を述べた。

池田会長は、「若い人たちがたくさん参加してくれてうれしかった。看護の資格は島根の宝、皆で育てていきたい」と話した。

応募作文の入賞者は
次の通り(敬称略)。
▽最優秀賞 石飛葉月(大田高)▽優秀賞 細田璃桜(松江農林高)、高木悠之助(同)、高倉未羽(島大附属義田邊真希(同) 務教育)▽入選 中琴実(浜田高)、今宮美徳(同)、山下美柚(江津高)、中島萌李(同)、小田川美優(松江農林高)、和田愛花(同)。

シラネリンさん「動物作品展」

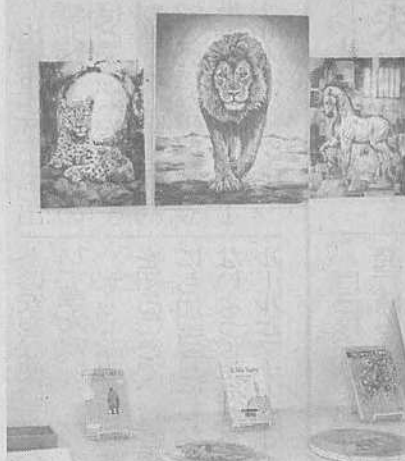
29日まで大東図書館

雲南

雲南市大東町の市三刀屋町の会社員シラネリンさん(24)の立大東図書館で、同市「ネ・リンさん(24)の

絵画作品展「動物作品展」が開かれている。29日まで。

シラネさんは絵を描くのが好きで、小学生のころ、雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室(愛称・うんな元気づけ子わくわく教室)の絵画教室にも参



シラネリンさんの作品が並ぶコーナー＝雲南市立大東図書館

イベント
安全・親切・信頼の警備

株 ケイショウ

本社 (0853) 21-7560 (代)
支店 (0852) 34-9100 (代)
営業所 (0854) 85-8560
営業所 (0859) 24-5581